

今日は、鳥取大学で理科(選択教科)の学習をしました。

主な今後の課題

- ・長い学期を見通した教育活動の工夫
- ・夏休みなど長期休業の有効活用
- ・学習や生活状況について子ども・保護者への通知方法
- ・学校行事のねらいや開催時期の見直し

2学期制に期待される主な効果

- ・長い学期を生かしてじっくりと学べます。
- ・先生が、子どもとじっくり向き合います。
- ・一人ひとりのよさを見つけ指導に生かし、伸ばします。
- ・子ども一人ひとりよく分かる授業が行われます。
- ・特色ある教育活動が展開され、子どもの個性が育まれます。

「2学期制」実施のモデル校より

先生の声

◆長い学期を利用して、学習課題にじっくりと取り組むことができ、全体をとらえた評価がしやすかった。また、いろいろな教科で自己評価を取り入れるなどして生徒に目標を持たせることができた。

◆十二月は、通知表作成業務などに追われることなく、授業を進めることができた。また、進路指導や教育相談など、従来より生徒としっかり関わることができた。

子どもの声

▼定期テスト間が長いので、計画的にテスト勉強に取り組みてよかった。

▼テスト範囲が広く、テスト勉強がたいへん。

▼秋休み中に前期の復習ができてよかった。

▼通知表がないから夏休みの気が緩む。

問い合わせ先 教育改革推進チーム (☎20-33366)

2学期制



今三回ある通信書が二回になることは、やり直しやチャレンスのチャンスを奪ったり、学習意欲が下がったりすることにならないか心配です。

通信書は子どもがどれだけ理解できたか、どれだけ成長したかを保護者にお知らせするものです。通信書が三回から二回になり、学習や生活についても子どもの成長の様子を知る機会が一回減るため、それにかわる方法を各学校で検討します。長期休業前や休業中に個人懇談など、さまざまな方法を工夫して、話し合いや情報の提供ができることを考えています。その都度必要なことは保護者にお伝えし、連携をはかっていくことはこれまでと変わりません。

夏休みの過ごし方が過密になり、子どもや親の負担が増えると思います。また、親がなかなか見てやれない家庭では、差がつくよう不安です。また、学期途中の休みなので夏休み中も評価されるのでしょうか？

子どもが目標を意識して過ごせるよう、夏休み前に休み中の学習や生活について指導ができます。学校は、できる限り一人一人の目標に合った指導をします。

また、保護者に対しても学習や生活についての個人懇談を休み前以外にも夏休み中に開催するなど、各学校の工夫が広がると思います。夏休み中に、教員が支援しながら調べ学習や体験的な活動あるいは補充的な学習などを計画する学校など、各学校の取り組みも可能になります。なお、夏休み中は授業日ではないので、その間の学習によって評価が大きく左右されることはありません。

先生が2学期制のねらいを十分理解し、よいものにしていくこととする意欲がなければ、1学期制を導入しても何にもならないと思います。

単に3学期制を2学期制にするだけではなく、学校教育の在り方や学校行事、授業の進め方、保護者との関わりなどについても見直していきます。教師の指導力や資質の向上がなければ改革の成果はよりよいものになりません。子どもに力がついているかどうかという視点で、日常的なレベルでの取り組みが進められるように、これからの支援していきます。